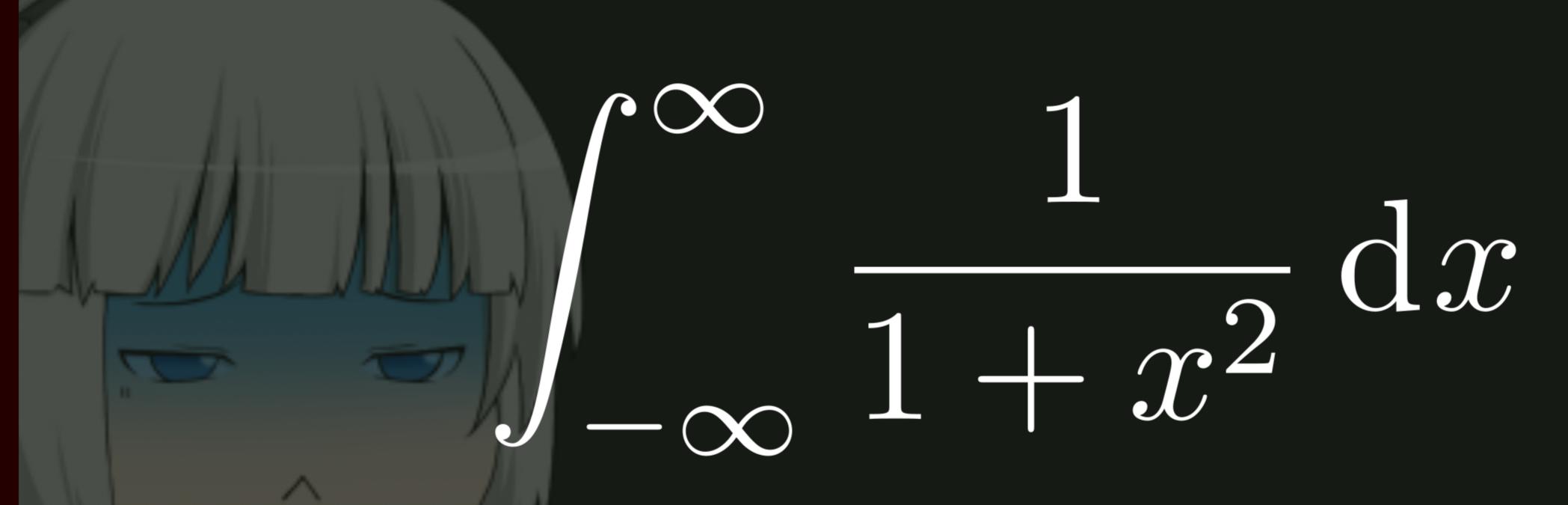
次の積分を計算せよ。



次の積分を計算せよ。

$$\int_{-\infty}^{\infty} \frac{1}{1+x^2} \, \mathrm{d}x$$

<u>説明</u>

無限区間(有界でない区間)の積分は 広義でないリーマン積分の範囲では定義されない。

 \mathbb{R} 上で連続な関数fと有限な実数mに対して、 $(-\infty,\infty)$ における積分を次のように定義する。

$$\int_{-\infty}^{\infty} f(x) dx = \lim_{b \to -\infty} \int_{b}^{m} f(x) dx + \lim_{t \to \infty} \int_{m}^{t} f(x) dx$$

右辺の極限がそれぞれ収束するとき、右辺を広義積分の値と定める。

解答(0)

$$\int_0^t \frac{1}{1+x^2} dx = \left[\tan^{-1}(x) \right]_0^t$$
$$= \tan^{-1}(t)$$
$$\to \frac{\pi}{2} \quad (t \to \infty)$$

$$\int_{b}^{0} \frac{1}{1+x^{2}} dx = \left[\tan^{-1}(x) \right]_{b}^{0}$$
$$= -\tan^{-1}(b)$$
$$\to \frac{\pi}{2} \quad (b \to -\infty)$$

次の積分を計算せよ。

$$\int_{-\infty}^{\infty} \frac{1}{1+x^2} \, \mathrm{d}x$$

<u>解答(I)</u>

二つの極限がそれぞれ収束したことにより、 与えられた積分の値は定まり、次の結論を得る。

$$\int_{-\infty}^{\infty} \frac{1}{1+x^2} dx$$

$$= \lim_{b \to -\infty} \int_{b}^{0} \frac{1}{1+x^2} dx + \lim_{t \to \infty} \int_{0}^{t} \frac{1}{1+x^2} dx$$

$$= \pi$$

結論

$$\int_{-\infty}^{\infty} \frac{1}{1+x^2} \, \mathrm{d}x = \pi$$

補足

$$\int_{-\infty}^{\infty} f(x) dx = \lim_{L \to \infty} \int_{-L}^{L} f(x) dx \ge 1$$

定義しない理由

より一般に、
$$\lim_{L\to\infty}a(L)=-\infty, \lim_{L\to\infty}b(L)=\infty$$
 なる a,b 二つを用いて無限区間の積分を表さない。

$$\int_{-\infty}^{\infty} f(x) dx \neq \lim_{L \to \infty} \int_{a(L)}^{b(L)} f(x) dx$$
$$\int_{-\infty}^{\infty} f(x) dx = \lim_{b \to -\infty} \int_{b}^{m} f(x) dx$$
$$+ \lim_{t \to \infty} \int_{m}^{t} f(x) dx$$

例えば、次のような積分を考える。

$$\int_{-\infty}^{\infty} x e^{x^2} dx$$

$$\lim_{L \to \infty} \int_{-L}^{L} x e^{x^2} dx = 0$$

$$\lim_{L \to \infty} \int_{-L}^{2L} x e^{x^2} dx = \infty$$

$$\lim_{L \to \infty} \int_{-2L}^{L} x e^{x^2} dx = -\infty$$

上記のように、aとbの与え方によって 収束か発散かの振る舞いすら変わってしまう。

従って、上端と下端の無限大は別々に極限を 取ることが妥当だと判断できる。